

「業績が良い、悪い」ところか。私は、少なくとも
いう言葉をよく使うが、具 21世紀の建設業界ではどう
体的にはどういふことだろう ではないと考える。

私は「損益分岐点比率」

売上高と経常利益が前年 が企業の業績を判断するた
より増えている会社を「増 めに重要な指標であると考
収増益企業」といい、一般 える。そして損益分岐点比
に「業績が良い会社」であ 率が低い会社を、「業績が
るといつ。しかし今後、建 良い会社」と定義する。

設業界で「増収増益企業」 「損益分岐点比率」とは、
が本当に「業績が良い会社 経常利益が0となる計算上
といえるだろうか。売上高 の売上高を、実際の売上高
と経常利益は、本当に増や で割ったものである。損益
し続けないといけないのだ 分岐点比率の低い会社には

間接費の削減策②

「業績が良い会社とは？」



ハタコンサルタント 降簾 達生
代表取締役

次のような特徴がある。 とは、売上高に関わらず計
・社員1人当たりの生産性 上される費用である。つま
が高いため、少ない固定費 り、前回定義した「間接費」
で高い売上高を計上してい に現場社員の給与、賞与を
る 加えたものである。建設会

・現場原価管理が適切に行 社が雇用しているのは、単
われているため、変動比率 純労働者でなく100%技
(売上高に対する変動費Ⅱ 術者であるがゆえに、現場
外注費Ⅱの比率)が低い 社員の給与、賞与を変動費
したがって、固定費を少 化することはできない。

なくし、変動費率を低くす したがって、間接費に現
れば「損益分岐点比率」が低 場社員経費を含めた固定費
くなり、売上高が減少して を削減することが「損益分
も、経常利益が確保できる 岐点比率」の低減に寄与し、
安定した会社となる。ちな 業績アップにつながるの
みに、建設業の損益分岐点 だ。「損益分岐点比率」を、
比率の平均は85%である。 建設会社の最重要経営指標

さ(ここで、固定費とい として活用していただきた
う言葉を使用した。固定費 い。